

とちぎっ子通信

こどもの健やかな成長を育むために

第3号

令和2年 10月

街路樹が色づき、秋の深まりを感じるこの頃です。とちぎっ子発達クリニックも11月で開業1周年を迎えます。これまで、600人余の患者さんが受診されました。定期通院、訓練継続の方も多くなってきました。関係機関からのご紹介や、患者さんからの口コミが増え、受診申し込みの電話も、毎日コンスタントにあります。

子どもの発達障害とリハビリテーション専門クリニックとして、地域の子どもたちに貢献するため、日々、スタッフ一同よりよい治療や発達支援ができるようにと努力と工夫を続けてきました。「いちごちゃんの病院」に行きたいと小さいお子さんが楽しみにし、「また、きます」「ありがとうございます」と笑顔で言ってくれれば、私たちもとても励まされます。

子どもの発達上の問題点にばかり目を向けるのではなく、一人一人の日々の生活が心身共に健康であることは大切です。子どもたちが、家庭や地域社会で温かく見守られて、安心して、成長していくことができるために、長期的な広い視野を忘れず、私たちの役割を誠実に果たしていきたいと思えます。

今後とも、とちぎっ子発達クリニックをどうぞよろしくお願いいたします。

とちぎっ子発達クリニック 院長 小黒範子



クリニックのロビーには、みんなが書いてくれた塗り絵や作品がたくさん飾られています。



10月31日はハロウィンの日です。収穫を祝うとともに悪魔払いともいわれています。仮装をするのは、ハロウィンの日には悪魔や魔女がやってきて、災いをもたらすという意味があります。そこで、身を守るために仮面をかぶったり、悪霊や魔女の恰好をして仲間に見せかけたりしたのが、仮装の始まりです。また、やってきた悪魔たちが、その格好を見て驚いて逃げるようにという説もあります。みんなにとってどんなハロウィンになりそうかな？



いちごのひろば



感覚過敏は周囲にはわかりにくく、本人にはとてもつらい特性です。
今回は、対処法や工夫について一部ご紹介します。

感覚過敏をご存じですか？

<p>耳（聴覚） </p>	<p>目（視覚） </p>	<p>皮膚（触覚） </p>
<p>大きな音、ジェットタオル 子どもの高い声、運動会のピストルの音、どなり声、時計の秒針、換気扇など イヤーマフの使用、事前に知らせることで心構えができる等</p>	<p>太陽の光やフラッシュが異常に眩しい等、人ごみや動くものがたくさん サングラス使用、夕方の散歩など安心した人と一緒に行く等</p>	<p>洋服のタグ、縫い目、セーターがチクチクする、爪切り苦手等 タグを切る、綿の長袖Tシャツをきてからセーター類を着る、着心地の良い服は複数買う等</p>
<p>鼻（嗅覚） </p>	<p>口（味覚） </p>	<p>その他（平衡感覚、温痛覚等）</p>
<p>音楽室、理科室のにおい 給食、トイレ等のにおい マスクの使用、別室での授業等 好きな香りを持っていく、購入する時ににおいの確認等</p>	<p>特定の味または苦味、塩味、甘み、旨味など偏りはないか 体調の良い時に違う調理法で試す、給食からお弁当の相談、無理に食べなくてOK等</p>	<p>痛みを感じない、鈍い、エレベーター等で酔う アザや骨折等動き方に注意、苦手な乗り物や遊具は乗らない、目的や手順を説明等</p>

これらはほんの一部です。ひとりひとり、程度や内容が異なります。感覚が過敏なお子さん、または鈍感なおさんは、毎日の生活で困り感がたくさんかかれています。お子さんの困り感に寄り添い、学校や幼稚園・保育園の先生にも伝え、周囲の理解と適切な環境調整が何より大切です。



<あとがき>

日ごとに秋めいてまいりました。今年も食欲の秋、読書の秋を楽しもうと思います。お父さんやお母さんがリビングで本を読むご家庭では、自然と親の近くで本を読むお子さんが多いようです。大人もスマホ等に気をとられがちです。親が読書をして楽しい姿をみせることで、子どもも本に興味を持つきっかけになると思います。また、子どもが読んでいる本についても興味をもって内容などを聞くなど、子どもとの会話のキャッチボールも育まれるきっかけにもなりますね。

みなさんにとって、コロナやインフルエンザに負けない秋冬でありますように。（たかこ）

